

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①知 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、旋律やリズムなどを工夫して、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>① 音階、旋律、リズム、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 音階をもとにして音楽をつくることに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p>

3 指導と評価の計画（5時間）

丸数字・・・全員の学習状況を記録に残す場面

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
<p>第一次 ◎ 音階の響きを聴き比べたり、旋律をつくったりする活動を通して、三つの音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。</p>				
第1時	<p>○ 都節音階、民謡音階、沖縄の音階の響きの特徴について知り、それらの生み出すよさや面白さなどを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三つの音階の響きを聴き比べ、感じたことを交流する。 一人一つ音階を選び2小節の旋律をつくり、音階ごとに卓上グロッケンでリレーをしたものを聴き比べ、音階ごとの雰囲気の違いを感じ取る。 三つの音階の響きの違いや特徴についてワークシートにまとめ、気付いたことを伝え合う。 	↓ ①知		
第2時	<p>○ 選んだ音階の音を使って、一人2小節の旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> つくりたい音楽の感じを意識しながら、旋律をつくる。 できた旋律を試奏して、互いに聴き合う。 <p>○ つくった旋律を4人でつなげて、音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「続く感じの旋律」と「終わる感じの旋律」を意識して、実際に音を出しながら、つなぎ方を考える。 つないだ旋律をグループごとに聴き合う。 自分たちがつくりたい音楽の感じに合う楽器を選ぶ。 気付いたことをワークシートに書いて、活動を振り返る。 			
<p>第二次 ◎ 思いや意図に合った表現にするために、反復と変化を用いてリズムや終わり方を工夫し、全体のまとまりを意識して音楽をつくる。</p>				
第3時	<p>○ 思いや意図に合った表現になるように、リズムパターンを選んで音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪♪♪, ♪♪♪♪, ♪♪, ♪ のいずれかのリズムパターンを反復、変化させて音楽をつくる。 つくった音楽を互いに聴き合い、工夫を共有する。 			
第4時 (本時)	<p>○ 思いや意図に合った表現になるように、全体のまとまりを考えながら終わり方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選んだ音階の中心音を使ったり、つくった旋律を反復、変化させたりして、終わり方を工夫する。 つくった音楽をペアグループや全体で聴き合い工夫のよさを伝え合う。 気付いたことをワークシートに書いて、活動を振り返る。 	↓ ②技	↓ ①	
第5時	<p>○ つくった音楽をグループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> つくった音楽を発表し合い、表現のよさを伝え合う。 音楽づくりで学習したことについて、ワークシートに記述したり、発表したりする。 			↓ ①

4 本時の目標（4／5時間）

☆ 「〇〇な感じの音楽」によりふさわしい表現になるよう、音階、旋律、リズム、反復、変化を工夫し、まとまりを意識した音楽をつくることについて思いや意図をもつ。

5 授業の視点

- グループで終わり方を工夫する活動やペアグループで聴き合う活動は、学びを深める場として有効であったか。
- どのように音楽の終わり方を工夫するか児童が思いや意図をもつ上で、教師の発問、言葉掛け、授業の展開は有効であったか。

6 本時の展開（4／5時間）

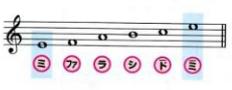
学習活動	教師の働きかけ(指示・説明・発問) 予想される児童の姿（・）	教師の支援（○） 個への支援（※）	評価（☆） （評価方法）
1 前時の学習を振り返る。	前時につくった音楽を思い出しましょう。 ・ 選んだ音階やリズムパターンの反復、変化の違いによって感じが異なる音楽 (例) 元気な感じの音楽 やさしい感じの音楽	○ リズムパターンから受けた感じを児童の言葉でまとめたものを掲示する。 ○ 意欲的に音楽づくりに取り組めるような雰囲気づくりをする。	
2 本時のめあてを確認する。	自分たちの思いに合う音楽になるように、終わり方を工夫しましょう。		
「〇〇な感じの音楽」に合う終わり方を工夫しよう。			
3 終わり方の工夫について知り、グループで音楽をつくる。	終わり方によって、どのように感じが違いますか。 【終わり方の工夫】 ・ 中心音をのぼして終わる。 ・ 中心音を使って、終わりの旋律をつくる。 ・ 4人目の旋律をくり返す。 ・ 音を伸ばすと、やさしい感じ。 ・ 細かいリズムにすると楽しい感じ。 繰り返し演奏して音で確かめながら、グループで音楽をつくりましょう。	○ 終わり方の工夫や感じの違いを具体的にイメージできるように、音と言葉を例示する。 ○ 机間指導しながら、児童の工夫や困り感を見取り、助言する。 ○ 主体的・協働的に取り組んでいる児童をほめ、音楽づくりを楽しむ雰囲気を高める。 ※ 演奏技能が十分でない児童には、つまずきに対して助言・支援を行う。	
4 他のグループの工夫を全体で共有し、全体のまとまりを意識して、工夫したり練習したりする。	他のグループの終わり方を聴いていいなと思う工夫を見付けましょう。 ・ 例示した工夫を取り入れたグループの音楽 ・ 例示以外の独自の工夫を取り入れたグループの音楽 旋律と旋律のつながりを意識して、さらに工夫を加えながら、始めから通して演奏できるように練習し、グループの音楽を完成させましょう。	○ グループの終わり方の工夫のよさを明確にし、価値付ける。 ○ 自分たちの表したい音楽になるよう、他のグループの工夫を参考にしてもよいことを伝える。 ○ 全体のまとまりを意識して完成させるために、旋律と旋律のつながりも意識して演奏するよう促す。	【思考・判断・表現】 ☆ 音階、旋律、リズム、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつく

<p>5 ペアグループでつくった音楽を聴き合い、よいところを伝え合いましょう。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<p>ペアグループでつくった音楽を聴き合い、よいところを伝え合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちは、お祭りの感じになるように、タッカのリズムをたくさん使うように工夫しました。 ・ はずんだリズムでつくられていて、お祭りの感じが表れていました。全員で一斉に最後の音を鳴らす終わり方は、まとまりがあつていいなと思いました。 <p>「〇〇な感じの音楽」に合うように終わり方を工夫して、思ったことや気付いたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「〇〇な感じの音楽」に合う終わり方を工夫することができた。 ・ グループのみんなで考えて、まとまりのある音楽を完成させることができ、楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの音楽のよいところを伝え合うことができるように、発表の仕方と聴き方のきまりを掲示する。 ○ ワークシートに書く思いや気付きは簡潔にまとめるよう言葉掛けをする。 ○ 早く書き終えた児童には、近くの友達と思いや気付きを伝え合うよう促す。 ○ 学習のまとめとして、まとまりのある音楽にするためには、終わり方を工夫し、全体のつながりを意識して演奏することが大切であることを話す。 	<p>るかについて思いや意図をもっている。 (演奏聴取・行動観察・発言内容・ワークシート)</p>
---	---	--	---

7 板書計画

音階をもとにして音楽をつくろう めあて 「〇〇な感じの音楽」に合う終わり方を工夫しよう。

都節音階



民よう音階



沖縄の音階



〈終わり方の工夫〉

- ・ 中心音をのばして終わる。
- ・ 中心音を使って、終わりのせんりつをつくる。
- ・ 4人目のせんりつをくり返す。

	(例)	(例)							
グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	
音階	都節	民よう							
〇〇な感じ	静かな	お祭り							
終わり方の工夫	のばす	せんりつをつくる							

高ミの音
弱音

ミ・ミミミーのリズム
みみみで

ふりかえり 終わり方を工夫すると、もっと「〇〇な音楽」になる。
まとまりのある音楽になる